

MAEBASHI FOCUS

国際交流員 (CIR) ニュースレター

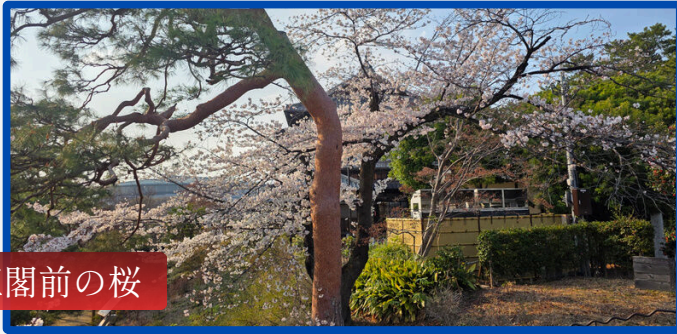
皆さん、ハウディ!

日本ではこの時期、別れと新たなスタートが同時に訪れます。そして、花粉症の季節でもあります。卒業や新しい仕事、人事異動などが続く中で、その風景に彩りを添えるのは、何といっても桜の開花です。

私はこれまで、実際に桜を見たことがありませんでした。多くの人が想像する通り、故郷のテキサスではあまり桜を見かけません。とはいえ、後になってダラスやヒューストンのような都市では少し見られることもあると知りました。



楽歩堂前橋公園



臨江閣前の桜

日本の春は花だけでなく、季節限定のお菓子ももたらしてくれます。これは、日本生活の中でも特に気に入っている点のひとつです。毎年、企業やお店が期間限定の商品を次々と展開し、春になると多くのお菓子が桜味になります。故郷ではここまで広く浸透しているわけではないので、日本はまるでお菓子の宝庫のように感じられます。貯金したりダイエットを続けたりするのは少し大変になりますが、それでもとても魅力的で、季節ごとの楽しさが増える理由のひとつになっています。

楽しんでいるのは桜だけではありません。JOMO JETという群馬で国際交流イベントを開催する団体のメンバーたちと一緒に、5月16日に開催予定の映画イベントの準備にも取り組んでいます。この企画はおよそ5か月前から進めてきたのですが、日本の著作権法は本当に甘くないですね!限られた予算の中で、たった2本の映画の上映権を確保するだけでも大きな挑戦でしたが、なんとか受賞歴のある作品をいくつか確保することができました。

とはいえ、このプロセス全体が非常に貴重な学びの機会になっています。上映権の取得や会場探し、運営の段取りや来場者の体験を考えることまで、イベントを開催する裏側を実際に体験することができました。

花見という文化は、私にとってとても新鮮で、同時に魅力的に感じられます。テキサスにも州を象徴する花である「ブルーボネット」はありますが、その開花を祝ってみんなで集まるような文化は特にありません。ただ、よく考えてみると、食べ物や飲み物、友人たちと楽しい時間を過ごすという点では、夏のプールパーティーは少し似ているかもしれません。それでも、花見はやはりとても「日本らしい」ものを感じられていたので、ずっと体験してみたいと思っていました。



JO映画のチラシ

さらには、映画の字幕制作まで自分で担当することになりました!中でも一番苦労したのは、意外にもイベント名を決めることでした。ネーミングはあまり得意ではないのですが、ありがたいことにメンバーの一人が「JO映画」という素敵な名前を考えてくれました。JOMO JETと「上映会」を掛け合わせた名前です。

全体として、このイベントは多くの人に楽しんでもらえると思います。将来的には団体の恒例行事として毎年開催できるようになり、少しずつ規模を(できれば予算も)拡大していけたらと思っています。皆さん、ぜひ観に来てください!

ここまで読んでいただき、本当にありがとうございます!これからもニュースレターを楽しみにしててください。